

## 武山分屯基地見学にスクールモニターが参加



8月28日(月)、自衛隊神奈川地方協力本部(本部長 平井克英(一海佐))は航空自衛隊武山分屯基地(神奈川県横須賀市)にて中部高射群第2高射隊の見学を実施し、スクールモニター2名も参加した。

初めに、高射隊の隊員より航空自衛隊及び第2高射隊について、航空自衛隊の職種についての概要説明があり、続いて装備品展示の説明(ペトリオットシステム、待機車、水タンク車)、最後に部隊の隊員との懇談を行った。

特に、懇談では、「陸海空の中で空を選んだ理由は」「基地の警備に興味があるのですが、どのような勤務なのか」「海外勤務をしたいが、英語は勉強しておいた方が良いのか」などの質問がなされ、4名の隊員がそれぞれの質問に実体験を踏まえながら丁寧に回答していた。

終了後には、モニターより「隊員さんとの懇談も、地本の方との会話も全部が楽しくて2時間があつという間でした。また参加できる日を楽しみにしています」という感想が寄せられた。

神奈川地本は、「今後もスクールモニター事業の継続により、気軽に自衛隊を知っていただける機会を設け、そこから自衛隊をより深く知りたいと思う方が増えるよう努めたい」としている。

## 関東大震災から100年、防災に意識を！都筑区防災救急フェア



神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所(所長 細田2等空尉)は、令和5年9月3日(日)、横浜市宮地下鉄センター南駅周辺の都筑区役所、東京ガスライフバル横浜北等を会場に行われた都筑区防災・救急フェアに参加した。関東大震災から100年目の節目となる今回は、警察、消防、自衛隊等の防災関係機関が一同に会して広報を実施し、市ヶ尾募集案内所は、都筑区役所前に1/2メートルラック(パジェロ)と人命救助システムII型を展示するとともに、東京ガスライフバル横浜北では、偵察用オートバイのほか非常用糧食や自衛隊の災害派遣の写真パネルを展示し、災害発生時の自衛隊の活動や食料品の備蓄の重要性等について説明を行った。

当日は、厳しい暑さにもかかわらず、多くの市民が来場され、自衛隊の制服の試着撮影コーナーや自衛隊広報グッズのガチャガチャも好評で、「自衛隊にもバイクがあるんですね」や「非常食にこんなに種類があるんですね」と驚く方や「バイクが気に入って降りたくない!」という子どもがいるなど、自衛隊をより身近に感じているだけでなく良い機会となった。

市ヶ尾募集案内所は、今回のような防災イベントに引き続き参加し、防災の重要性と災害発生時の自衛隊の活動についてアピールしていく。